OMU Students 海外留学レポート



氏名 高橋 凜

所属 商学部 公共経営学科

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

学年 2年

留学先 ハンブルク大学

留学期間 2022/10/1~2023/9/30

☆留学のきっかけ

★私は高校生の頃から海外に興味はあったものの、あと一歩の勇気が出せす、これまで一度も留学プログラム ★ などを利用したことはありませんでした。そのことから大学生になったら留学に行くという目標を漠然と決 ★ かていました。英語はまだまだ未熟で、海外経験もない、そんな私が英語圏でない国に一年間という長期間 ★ 留学へ行くことにはもちろん不安や躊躇する気持ちもあったのですが、当時ハンブルク大学へ派遣されてい ★ た先輩方の留学体験記を読み、ハンブルクにとても魅力を感じ、留学を決意しました。

☆授業

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

★私は初めのセメスターは主にドイツ語の授業を中心に、後半のセメスターでは引き続きドイツ語の授業とそ★

☆のほかにも英語の授業や自分の興味のある講義も受講しました。語学の授業ではセメスターのはじめにレベ★

☆ル分けテストを受け、そのレベルに応じた授業を選択することができます。ドイツ語の授業は4技能を向上

☆イツ語の授業や他にもドイツ語を使ってドイツについて学ぶなど様々な授業が開講されていました。ド

☆イツ語の授業には世界各国様々な国からの留学生が受講しており、授業を通してその国の文化や雰囲気を知

☆ることができ、とても楽しかったです。そして基本的にどの授業でもドイツ語話す練習の機会がたくさんあ

☆りました。はじめはドイツ語を話すことが得意で積極的に発言をする学生たちに圧倒され、それに比べて私

☆の拙いドイツ語を話すことに緊張していましたが、先生や学生たちはそんな私のドイツ語にもしっかりと耳

☆を傾けてくれるので、安心して授業内でもドイツ語を話すことができました。春休みにはビジネス英語の集

☆中講義を受講しました。しかし参加者の内日本人はおろか私以外留学生はおらず、そのほとんどがドイツ人

☆下した。授業内容も学生たちも私が想像していたよりもかなりレベルが高く、疎外感も相まって何度も心が

☆がれてうな気持ちでいっぱいでしたが、結果的に英語の未熟さを再確認でき、英語学習へのモチベーション

☆に繋がり、やりきってよかったと感じています。

☆ に繋がり、やりきってよかったと感じています。

☆語学の授業以外にも、ハンブルク大学では日本語学科に所属しますが、他の学部の授業も直接教授にコンタ ☆クトを取り、許可が出れば授業を受けることができました。実際に私を含め他の日本人留学生たちもそれぞ ☆れ興味のある学部の授業を受けていました。私はドイツ語で私の興味のある分野の講義を受けることも目標。 ☆の一つにしていたので、ドイツ語に慣れてきた後半のセメスターでは社会学部の講義を聴講というかたちで、 ☆受講しました。やはり自分の知っている語彙と授業内の語彙のレベルの差に最後まで苦しみましたが、それ。 ☆でもドイツからの視点で、しかもそれを活きたドイツ語で学ぶことができたということは私にとって大きな。 ☆意味がありうれしかったです。

堂校生活

★子校工名
★学校生活はとても充実していました。というのも、私の所属していた日本語語学科の学生たちは授業の合間
★や終わりにみんなで集まって課題をしたり談笑したりと学年関係なく和気あいあいとした雰囲気で、よくそ
★の輪の中に入れてもらっていました。私自身日本ではアルバイトもしていたため、忙しい日々の繰り返しで
★した。そのため授業終わり何気ないことを友人たちと話せるような、ゆっくりする時間を持てたことはとて
★も良かったです。また、そんな時間があるからこそ普段なら話さないような様々な話題について深いところ
★までお互いに意見を交換し合う事ができ、新たな視点を見つけられたり気づかされることも多々あり、視野
★が広がったように感じます。

☆さて、ハンブルク大学のお昼ご飯事情について。ハンブルク大学には二つの食堂とそのほかにピザ屋さんや ☆カフェがあります。安く、おいしく食べられるので学生たちにとても人気です。私は大抵節約のために自分 ☆ でサンドイッチを作って持参していましたが、たまに友人たちと待ち合わせをして一緒に授業終わりにお昼 ☆ ご飯を食べに行きました。その中でも私が特に気に入っていたのは二つ食堂があるうちの一つのヴィーガン ☆ の食堂です。そこでは名前の通りヴィーガンの料理のみが提供されています。毎日メニューが変わってどれ ☆ の食堂です。そこでは名前の通りヴィーガンの料理のみが提供されています。毎日メニューが変わってどれ ☆

☆日常生活

☆

★ハンブルクはドイツの中でベルリンに次いで人口の多い都市で、中世にはハンザ都市として栄えた港町です。 ☆またハンブルクは国際色豊かで、様々な人種の人が住んでいます。ドイツ語が母語ではないものの、ドイツ ☆ ☆語を使って生活している人もたくさんいるようで、日本では感じることのない人々の多様性が私にとっては☆ ☆とても新鮮でした。そんな環境のおかげでアジア人として生活することに窮屈さを感じることはあまりなく、☆ ☆外国人にとって住みやすい街であると感じました。ハンブルクはドイツ国内では大都市という位置づけにな
☆ ☆りますが、実際に私が一年間住んでみて感じたことは自然の多い、のどかできれいな街であるということで☆ ☆す。ハンブルクには港の他にもアルスター湖と呼ばれる湖もあり、水をすぐ近くに感じることができます。 ☆ ☆私は十月から滞在していたので、十一月の終わり頃から始まるクリスマスマーケットでは私は毎週のように ☆ドイツ国内いろいろな都市をめぐってたくさんのマグカップを集めました。長くて暗い冬ですが、クリスマ ☆スマーケットのある時期は夜はデコレーションでキラキラしていてとてもきれいでした。屋台のご飯もとて ☆もおいしかったです。また歩道の脇には大抵、日本で普段見るよりも大きな木がずらっと並んでおり、夏に ☆はその木の葉で歩道は日陰になります。そんな自然からできた日陰に入ると涼しい風が吹き、湿気の少ない☆ ☆ハンブルクの夏は過ごしやすくとても気持ちが良かったです。アルスター湖の周りはハンブルクの人々のジ ョギング・散歩コースになっていました。天気の良い日には湖沿いのベンチは人でいっぱいになり、さらに 🛧 公園の芝生では一人で本を読んでいる人や、夜まで友達とご飯やお酒を持ち寄ってピクニックをしている人 🔓 もいます。普段の生活の中に天気や自然が大きく関わり合っている、日本とはまた違った生活はとても素敵 🧙 でした。そして私もそんなハンブルクでの生活・行事を一緒に体験することができたことで価値観が大きく 変わったし、全てが大切な思い出です。

留学を終えて

私の留学はドイツ語学習がメインでした。そのためドイツ語の能力について話すと、渡航前のドイツ語能力ない。
 ☆は初級程度でしたが、ハンブルク大学の語学の授業が充実していたことや日本語学科の学生たちとたくさんな話す機会がたくさんあったことなどから私のドイツ語はかなり上達したといえると思います。しかし、ドイツ語を使いこなせるようになるには一年間でも時間がまだまだ足りないと感じ、一つの言語を習得することなる。
 ☆は容易ではないのだと身をもって感じさせられました。またそれと同時に英語圏ではないドイツ語圏での生み活を通して、英語の共通言語としての役割・重要性を感じさせられました。

※そしてこの留学を通じて、いかに自分が日本的な固定概念にとらわれていたのか気づかさせられることが多☆☆かったです。留学先でできた友人たちの生き方や考え方を聞いて、そんな生き方もあるんだと気づき、それ☆☆と同時に自分の将来について考え直すことができました。自分の能力どうこうではなく、考え方が変化した☆☆ことで将来の選択肢の幅はぐっと広がったように思います。それは私が留学してみて良かったと思える一番☆の理由です。留学では自分の殻を破らなければならないタイミングも多々あり、楽しいことばかりではあり☆☆ません。しかしそれら全ての経験を通じて、言語面だけではなく内面的な部分でも成長できたのではないか☆☆と思います。一年間とは思えないほどの濃い時間を過ごすことができ、あのとき留学する決意をして良かっ☆☆たと心から思います。

☆留学を決意する前、そして決意して申し込んでからも、留学について分からないことが山ほどあって、不安
 ☆なのは当たり前です。そしてどれだけ人から話を聞いても行ってみないと分からないことが大半です。どれ
 ☆だけ考えていても不安がなくなることはありません。だからもし留学に興味があって迷っているなら、深く
 ☆考えすぎずに挑戦してみてください。私がそうであったように、きっと価値のある時間になると思います。
 ☆応援しています。
 ☆応援しています。

☆高橋凜

☆ ☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆



ハンブルク、アルスター湖沿い



 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\frac{1}{2}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆ ☆

ハンブルク、散歩道



 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\overset{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆

 $\overset{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\overset{\wedge}{\Rightarrow}$ $\overset{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$

☆ ☆ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ ☆ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\cdot}{\diamondsuit}$

 $\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ ☆

 $\stackrel{\frown}{\not\sim}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\not\sim}$

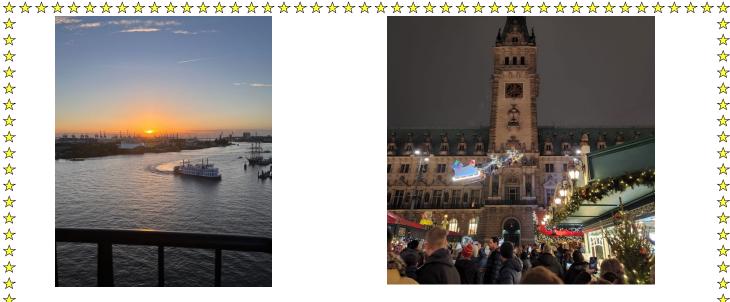
 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

ハンブルク、エルプフィルハーモニー からの景色



ハンブルク市庁舎前のクリスマスマーケット



屋台の食べ物(マッシュルーム料理)



クリスマスマーケットのマグカップ



 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\overset{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\cdot}{\not}$

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$ $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$

リューネブルクの クリスマスマーケットの様子



ドイツ式の朝ごはん



ハンブルク大学にあるビーガンの食堂のご飯